

# 概要

## 地球にやさしいまち・経済・ライフスタイルを目指して 京都市地球温暖化対策計画 <2011～2020>

論・論点該当箇所 ☆：時点修正想定箇所

### 序章 環境共生と低炭素のまち・京都

#### 1章 計画策定の背景

(1) 地球温暖化問題とは

☆(2) 国際的動向

☆(3) 国内の動向

#### 2章 京都市の地球温暖化対策

☆(1) これまでの経緯

(2) 旧計画の総括

☆(3) 京都市における温室効果ガス排出量の状況

(4) 京都市の地域特性

#### 3章 計画の基本的事項

☆(1) 位置付け

☆(2) 他の関連計画との関係

(3) 計画期間・対象ガス・削減目標

#### 4章 計画の特徴

(1) 6つの社会像の提示

(2) 各主体の役割

(3) 削減効果指標による施策の進行管理

(4) 戦略プロジェクトの推進

#### 5章 計画で掲げる施策・ロードマップ

#### 6章 計画の進行管理

☆(1) 推進体制

(2) 施策の進行管理

<2030（平成42）年度の低炭素社会像>

社会像1 人と公共交通優先の歩いて楽しいまち

社会像2 森を再生し「木の文化」を大切にすまち

社会像3 エネルギー創出・地域循環のまち

社会像4 環境にやさしいライフスタイル

社会像5 環境にやさしい経済活動

社会像6 ごみの減量

※ 社会像ごとに、目指すべき社会像の説明及び削減効果指標を提示

① 計画期間

2011（平成23）年度から2020（平成32）年度までの10年間

※ 社会経済情勢の変化などを踏まえて、5年を目途に見直しを検討する。

論1② 削減目標

京都市域からの温室効果ガス排出量を、

「2020（平成32）年度までに、

1990（平成2）年度比で25%削減する。」

① 2030（平成42）年度の二酸化炭素将来推計（バックキャスト方式）

論2② 削減効果指標の設定

論2③ 2020（平成32）年度の二酸化炭素将来推計（フォアキャスト方式）

戦略Ⅰ 温室効果ガスを排出しない都市構造への転換

① 歩くまち・低炭素都市づくりプロジェクト

・「歩くまち・京都」総合交通戦略の推進

・京都らしいエコ・コンパクトな都市づくりの推進

・森林の適切な保全と地域産木材の活用

戦略Ⅱ 環境と経済が融合する社会システムの構築

② グリーンエコノミー創出プロジェクト

論5・グリーン・イノベーションの推進

論3・スマート・コミュニティの構築

・環境価値の「見える化」

戦略Ⅲ 環境にやさしいライフスタイルへ

③ エコライフ・コミュニティ創出プロジェクト

論4・地域からのエコライフの発信

・新たなエコスタイルの提案

・循環型社会システムの構築

※ 各推進方針のもとに具体的施策(41)、そのもとに具体的取組(118)を掲載し、具体的取組ごとに10年の工程を設定

#### 社会像1 人と公共交通優先の歩いて楽しいまち

推進方針

- ・「既存公共交通」の取組(既存公共交通の利便性向上)
- ・「まちづくり」の取組(歩行者優先のまちづくり)
- ・「ライフスタイル」の取組(歩いて楽しい暮らしを大切にすライフスタイルへの転換)
- ・エコカーへの転換

#### 社会像2 森を再生し「木の文化」を大切にすまち

推進方針

- ・地域産木材の活用
- ・森林の適切な保全
- ・水と緑と風を生かしたまちづくり

#### 社会像3 エネルギー創出・地域循環のまち

推進方針

論3・再生可能エネルギーの導入拡大

論3・地域におけるエネルギーマネジメント

#### 社会像4 環境にやさしいライフスタイル

推進方針

論6・エコ生活の普及促進

論4・地域コミュニティにおけるエコ活動の促進

論4・環境に配慮した住宅の普及促進

#### 社会像5 環境にやさしい経済活動

推進方針

論5・環境産業の振興・育成

論4・企業における低炭素化の促進

・環境価値の創出・循環

#### 社会像6 ごみの減量

推進方針

- ・そもそもごみを出さない
- ・ごみは資源、可能な限りリサイクル
- ・ごみは安全に処理して最大限活用